目、黑稲門会会報



第60号 2013年9月

(題字:眞仁田 勉 初代会長)

発行人: 大野 利幸 編集長: 地田 博昌 事務局長: 吉本 政治

事務局:〒152-0031 目黒区中根1-15-4 Tel 03-3725-3700

第14回定時総会開催

2013年7月21日 (日)、目黒雅叙園にて、来賓2名、招待現役学生3名、応援部出演者3名、会員及び家族75名の出席を得て、目黒稲門会第14回定時総会が開催された。

午後4時、笠谷興一朗幹事が司会となり、開会を宣した。始めに参加された来賓2名の紹介があり、

次に大野会長より挨拶が あった。会長は、初めての 試みである現役学生招待に ついて紹介し、新部会の発 足承認など今後益々の発展 の協力を訴えた。(別掲)

ここで議長の選出を行い、 横山相談役が議長席に就い た。議長は出席者数の報告

を求め、司会より会員総数170名中委任状を含め114名が出席している旨の報告があった。これより議事に入り、吉本事務局長より(1)24年度事業報告(2)24年度部会活動報告がなされた。次いで梶会計幹事より(3)24年度決算報告、服部監査役より監査報告、梶会計幹事より(4)繰越金処分(案)について報告があり、いずれも異議なく承認された。

吉田幹事長より(5)25年度事業計画(案)(6) 25年度予算(案)、吉本事務局長より(7)会長推挙 委員会規定一部改訂について、吉田幹事長より(8) 25年度役員一覧(案)について、それぞれ説明があり、 異議なく承認された。

横山議長は、全ての議事が滞りなく承認された旨 を告げて、議長席を降りた。

次に、来賓を代表して迫田実早稲田大学理事より 挨拶を賜った。迫田理事は、目黒稲門会が13の部会 で活発な活動をしている事を称え、特に「若木会」 を中心とした若手の活動にエールを送った。続けて、 「早稲田ビジョン150」のリーフレットに従い、大学 の近況を報告。世界の早稲田としての国際展開、学 部の壁を取り払った教育改革、抜本的な入試改革な どを説明した。留学生の受け入れでは、中野にコミュニティプラザ(学生寮)を設置し、日本人の学生と留学生が1対1の割合で生活する、海外への留学は早稲田がトップで日本のグローバル化に役立っている、などの話があった。スポーツでは、12月1日、国立競技場の早明ラグビーを5万人で埋めようとの呼びかけがあった。

10分の休憩ののち、午後5時10分より、引き続き 笠谷幹事の司会で第2部懇親会に移った。

始めに来賓として、木下健地域コーディネーターより挨拶を賜った。校友会費は大半が現役学生の奨 学金として使われており、今後もご協力をお願いす るとの内容だった。

ここで、海口相談役のご発声で乾杯、歓談となった。司会より、当日初参加の高野孝氏、岩田おさむ 氏が指名され、自己紹介があった。次いで、今回初 の試みで招待された現役学生3名より自己紹介があ り、将来は是非目黒稲門会にとの話があった。

司会より校友会支援の東北の銘酒「男山」の紹介があり、料理とお酒、歓談に花が咲いた。しばし歓談が進み、本日の特別アトラクション、現役応援部の演技に移った。ステージに詰め襟姿のリーダー1名、チアリーダー2名が揃い、早慶戦さながらの雰囲気で「紺碧の空」「コンバットマーチ」の演技、全員で「早稲田の栄光」を歌いあげた。



式次第も進み、13ある部会の部会長らによる部会 活動の紹介があった。司会より部会活動への活発な 参加とボランティア部会の募金への呼びかけがあり、 安藤幹事以下、現役学生らによる稲門祭記念品販売 が行われた。

宴たけなわにして、再び応援部リーダーの指導で 全員が一つの輪になって肩を組み、校歌斉唱。「若 木会」中西部会長による中締め挨拶となった。中西 部会長は、「若い現役学生の息吹により、先輩方も元 気になったと思う。」と一本締めにてお開きとなった。

会長挨拶

目黒稲門会会長 大野利幸

目黒稲門会第14回総会の開催に当たり、ご挨拶申 し上げます。

本日、ご来賓として早稲田大学より迫田実 理事、 木下健 地域コーディネーターのお二人にご出席いた だいております。ありがとうございます。

今回、初めての試みとして現役学生3名を招待しました。皆さんには諸先輩が各地域でどのような校友会活動をしているか知っていただく良い機会かと思います。そして、卒業後は是非目黒稲門会に入会され、会の活動に参画いただきますよう期待しております。

昨年秋より「早稲田スポーツ観戦準備部会」が活動を開始、すでに、ラグビー、レガッタ、アメリカンフットボール、野球、サッカーなど観戦、応援してきました。今回の総会で部会として承認いただくと部会数は13になります。部会数が多くなり、会員の皆さんが参加できる機会が増え、目黒稲門会がますまず発展するよう願っています。

会員の皆さんの一層のご協力をお願いし、挨拶と します。 (田島 記)



総会初参加者: 左から岩田、高野の各氏



現役学生の参加者

総会出席者(敬称略)

(来賓)

迫田 実・早稲田大学理事 木下 健・早稲田大学地域コーディネーター (応援部)

関口晃由、ハウ虹貴子、原 汐里 (現役学生)

佐藤隆巧、山口優幸、クリスティン・チェン (会員・ご家族)

朝比奈義雄、浅海敏之、荒瀬修一郎、安藤 孝、 安藤虎雄、安藤嘉昭、石川純子、市瀬一江、 伊藤 悠、稲垣博信、猪名川一雄、井村正陽、 岩佐幸子、岩佐好恭、岩崎春雄、岩瀬 晚、 岩田おさむ、鵜野洋治、海口昭治、大内秀明、 大久保健治、大杉邦雄、大竹一子、大野利幸、 大野幸子 (夫人)、尾崎 充、笠谷興一朗、 梶 恵作、柏木 博、加藤榮護、加藤玲子(夫人)、 金井豊男、狩野俊夫、川井信義、川崎真樹子、 河村晋彦、郡山弘文、郡山富子(夫人)、小杉 哲、 後藤克彦、佐藤裕美、柴崎貞夫、柴田大介、 嶋田勝彦、島田久家、高野 孝、田島順一郎、 田畑 繁、地田博昌、千野逸平、手塚仁雄、外岡 明、 永井正孝、中上美代子、長島清志、永田耕治、 中西千可子、中西元樹、服部尚彦、林 重雄、 林田雅敏、林田敞子(夫人)、堀井良造、牧野武夫、 眞仁田 勉、村上 柾、村上 満、村田信之、 村山 弘、森家一三、保井 正、横山 大、 吉田博行、吉本政治、米田文彦、





<u>目黒稲門会 第14期 決算報告書</u> (平成24年4月1日~平成25年3月31日)

科目	金 額				
前期繰越金	1, 201, 801				
年 会 費	783, 000	24年度5000×156名、3000×1名、 2500×2名			
総会収入	750, 000	H24-7-22目黑雅叙國、会員74名、同伴3名			
新年会収入	745, 000				
組織強化費	334, 000	早大校友会(母校支援、若手交流費補助金含む)			
雑 収 入		受取利息			
合 計	3, 814, 007				
支出>					
科目	金 額	備考			
総会費	583, 080	会場費他			
新年会費	672, 347	会場費他			
会 報 費	384, 300	会報制作発行費、印刷費			
		囲碁、麻雀、カラオケ、ゴルフ、ウォーキング、			
部会選営費	140,000	よん月会、美術歴史鑑賞、グルメ、旅行、俳句、			
		若木会、ボランティア、会報編集、事務局			
会 蕨 費	116, 134	役員会、会報編集会議等の会議室使用料			
交 際 費	164, 735	東京23区支部関連、WASEDAサポーターズ俱楽部会費			
通信費	93, 160	総会等案内状、会報他発送費			
事務用品費	162, 210	業務用角封筒、事務消耗品、会議資料等コピー代			
広告宣伝費	46, 528	niftyliP契約使用料、早稲田祭広告掲載料			
維費	48, 279	会費等振込手数料、名簿印刷代			
その他の支出	50,000	者木会補助金			
次 期 繰 越 金	1, 353, 234	*脚注参照			
合 計	3, 814, 007				

*注: 次期緣總金內訳 · 三菱東京UFJ銀行 学芸大駅前支店 · 三菱東京UFJ銀行 中目黑支店 1, 316, 898円 9.855円 ・ゆうちょ銀行 目黑店

監查報告書

私たち監査役は、平成24年4月1日から平成25年3月31日までの第14期会計年度の会計報告を 監査致しました結果、適正かつ正確であることを認めます。

'平成25年5月2日

日星郑阿会 贮存袋

<u>日黒稲門会 第15 期予算</u> (平成25年4月1日~平成26年3月31日)

科目	金 額	備 考
前期繰越金	1,353,234	
年 会 費	780,000	◎ 5,000×156名 納入率 92.%で算定
総会収入	750,000	@ 10,000× 75名
新年会収入	750,000	@ 10,000× 75名
組織強化補助金	132,000	早稲田大学校友会 25 年度確定分
雑収入	0	
숨 計	3,765,234	

科目	金 額	備考			
総会費 750,000		会場費(目黒雅叙閣)他			
新年会費	750,000	Я			
会報発行費	450,000	会報印刷代 400,000+予備費 50,000			
部会運営費	150,000	囲碁・ウォーキング・カラオケ・グルメ ゴルフ・俳句・美術歴史・麻雀・旅行 広報編集・ボランディア・よん月会・若木 会・早稲田スポーツ観戦・事務局			
会 跪 費	120,000	役員会等の会議室借料、商議員会費補助			
交際費	180,000	23 区支部関連・WASEDA サポーターズ倶 楽部会費等			
通信費	100,000	会報発送賽等			
事務用品費 170,000		業務用封筒、事務消耗品			
HP運営費 50,000		ニフティー使用料・早稲田祭広告掲載料			
維 绩 50,000		根込み手数料・会員名権印刷者			
組織強化対策費 200,000		若木会活動援助費·若手交流対策費·会」 募集資料制作費·部会活動活性化対策費			
繰越処分金 200,000		別途積立金繰入			
次期繰越金	595,234				
合 計 3,765,234					

- *1 25年度母校支援・着手交流費の200,000円は未確定のため収入に計上しない。
- **2 25 年度末に 前条件が承認されれば、組織強化費 (母校支援・若手交流費) が 200,000 円の増額になり 予算上の次期縁越金は 795,234 円となる見込み。 **3 24 年度目校支援・若手交流費は科目を組制強化対策費として、若木会活動援助費・若
- 手交流対策費・会員募集用会報の増刷等に充当。 *4 前期繰越金から繰越処分金として200,000円を別途積立金に繰入。

各部会からの案内・報告

ウォーキング部会

今年は例年になく暑い日が続いていましたが皆様 はお変わりございませんでしたか。

やっと気候もおちついた時期になってまいりまし た。さあ元気を出して一緒に歩きましょう。初参加、 初心者、友達 大歓迎です。お誘い合わせのうえ参 加ください。

実施報告

6月例会 参加11名 鎌倉古道をたどり季節の花を愛でる 町田・七国山探訪



7月例会 参加8名 都内の公園を歩く 山本有三記念館、井の頭公園、神代植物園



今後予定

・9月例会

都内の公園を歩く(第3回)

向島百花園、旧岩崎庭園、六義園を経て旧古河庭 園まで

9月17日 (火) 午後1時 時 H 集合場所 JR亀戸駅北口改札外

·10月例会

首都圏随一の緑地帯見沼田んぼを歩く

10月8日(火) 午後1時

J R 武蔵野線東浦和駅改札外 集合場所

·11月例会

ウォーキング部会原点の鎌倉五山を歩く 円覚寺、浄智寺、建長寺、寿福寺、浄妙寺

時 11月8日(金) 午後1時

IR横須賀線北鎌倉駅改札外 集合場所

·12月例会

西荻窪アンティーク街から東京女子大、善福寺公 園を歩く

12月11日(水) 午後1時 集合場所 【R西荻窪駅改札外 北口

小雨決行です。参加される方は下記まで連絡をお願 いします。

> 牧野武夫 ウォーキング部会長

俳句部会

前回に引き続き芭蕉の句を5句ご紹介します。皆 さんご存知の句が多いのでは。

> 古池や蛙とびこむ水の音 行く春や鳥啼き魚の目は泪 若葉して御眼の雫ぬぐはばや 夏草やつはものどもが夢の跡 五月雨の降り残してや光堂

第54回「萩句会報告|(順不同)

川井素山 水しぶきやな場の床に踊る雑魚

保井寶正 原宿のモダン浴衣やはじけをり

牧野里山 かき氷売り切れ迫る浜の家

青木英林 凌霄花思はぬ高みに顔を出し

後藤克彦 風鈴の音弱々し路地の軒

丸山酔宵子 浴衣着て下駄を鳴らして縄のれん

佐久間喬 あつあつのお湯割り飲みて暑気払

永井正孝 隣家からモーター唸る熱帯夜

吉田啓悟 カーテンの裾のゆらぎの薄暑かな

安藤虎酔 踊りの輪見やう見まねの浴衣の子

佐久間たか子 向日葵や病床の友微笑んで

佐藤喜仙 あぢさゐの浴衣のもやう街灯

麻雀部会

(参考)

- 1. 目黒稲門会定例麻雀大会が6月16日(日)武蔵 小山「サン」にて開催されました。16人参加し 優勝小倉氏、準優勝本多氏、3位中村氏であり ました。
- 2. 部会は年6回開催され、8月24日(土)の3区 大会のあと、10月26日(土) 3区大会、12月8 日(日)定例大会となります。

麻雀部会長 鵜野洋治

囲碁部会

7月1日(月)の例会は11名の方が参加され、5 月10名、6月10名と安定(?)しており、何人かの 方は、1時ごろに見えて対局を開始され、5時半ま で目いっぱい楽しまれておりました。この状態を維 持していきたく思っていますので、ご協力お願いし ます。

第13回オール早稲田囲碁祭が6月1日(土)、市ヶ 谷日本棋院で開催されました。首都圏稲門会から44 チーム(1チーム5名で220名)が参加して団体戦 を行いました。AからFまで6グループに分かれ、 それぞれのグループで覇を競いました。目黒からは CおよびEグループに合計10名参加し、Eグループ はその組で準優勝と大健闘でした。帰りは、近くの 居酒屋で定例の反省会をして散会しました。

7月20日(土)、上記囲碁祭で対戦したのが縁で、 世田谷稲門会の囲碁部会から誘いを受け、世田谷区 の施設「ふじみ荘」で親善交流囲碁会を行いました。 世田谷から11名、目黒から7名が参加し、総勢18名 が、10時30分から17時30分まで、熱戦を展開しま した。その後の夕食会で和気あいあいとした雰囲気 の中で歓談を楽しみ、19時ごろに散会しました。楽 しく、続けていきたい交流会でした。

> 囲碁部会長 大久保健治

早稲田スポーツ観戦部会

梅雨の合間の天候には恵まれた6月29日(土)国 立競技場で行なわれた早慶サッカー定期戦(ナイ ター)を12名の会員と応援に行ってきました。

結果は3-0の完勝で、ゴールのたびに「紺碧の空」 を声高らかに歌い喜びを味わう事ができました。

しかしながら正面スタンドに席を確保したためか、 応援部のリードによるサッカー独特の熱狂的応援に は、けして若くない我々には些かついていけないも のを感じました。次回サッカー観戦の機会があれば その点を反省材料として改善したいと思いました。

7月の総会で正式の部会として認められ秋より本 格活動を開始します。会員の皆様方の今まで以上の ご指導と積極的なご参加をお願い申し上げます。

早稲田スポーツ観戦部会長 狩野俊夫

ボランティア部会

7月21日(日)の総会時の募金は10.397円でした。 1年前の総会時の募金は7.950円でしたので、今年は 少し良い結果となりました。看板の成果が少しあっ たのかもしれません。

現時点での募金残高は64,559円となりました。

ボランティア部会長 稲垣博信

美術・歴史鑑賞部会

第41回の鑑賞会は、6月12日(水)の小雨降る中、目黒駅から徒歩15分のとこにある私立美術館「松岡美術館」入口集合(参加者15名)で実施。「松岡コレクション印象派とその時代/松岡コレクションうつわのかたち」展を鑑賞しました。実業家・松岡清次郎が一代で収集したコレクションの中からモネ、ルノワール、ピサロ等の印象派絵画と古代ギリシア陶器、東洋陶磁器が展示されていました。

ランチはプラチナ通りにある人気の中華レストラン「白金亭 | でした。



第42回も小雨降る中、「横浜美術館」入口に集合。話題の「プーシキン美術館展―フランス絵画300年」を参加者12名で鑑賞しました。ロマノフ王朝・貴族コレクション、新興富豪のモノゾフコレクション、シチューキンコレクションで有名。代表的作品であるアングル「聖杯の前の聖母」、ゴッホ「医師レーの肖像」、セザンヌ「水浴」等が出展されていました。今回の美術館展ポスターになっているルノワール「ジヤンヌ・サマリーの肖像」の前は足を止めて鑑賞する人の山?でした。

鑑賞後は、クイーンズイーストにある「キハチ イタリアン」で今回の美術館展スペシヤルランチを 堪能しました。



次回予定は、9月4日(水)「ルーヴル美術館展」 東京都美術館入口10時30分集合。参加申し込みは 後藤克彦までお願いいたします。

美術·歷史鑑賞部会長 後藤克彦

ようこそ!部会活動へ

「よん月会」は目黒稲門会の入り口

よん月会部会長 安藤 孝 「よん月会」は1999年1月に「三金会」としてスタートし、途中「三土会」と名を変え、2007年1月に都 立大近くの「やるき茶屋」に場所を変え現在に至った、 目黒稲門会で最も歴史のある部会です。

これまでに168回の実績を重ねてきましたが、途中休会したことは2005年に6回と2008年11月の7回のみで、役員会より回数を重ねております。

会がこれほど続けられているのも会に参加することの楽しさ、参加しやすい雰囲気があればこそと思います。毎月第4月曜日に飲み放題、食べ放題、しゃべり放題が会員のストレス発散の場所としての存在価値があります。また、目黒稲門会の新入会員の活動への入り口としても重要な位置を占めており、ここ数年は新入会員を必ず1度は招待し、目黒稲門会の良さをPRする場となってきました。毎回20名前後が集まりワイワイガヤガヤの大盛況となっております。

会には歴代会長も出席しており、延べ参加者は 100名を超え、目黒稲門会の3人のうち2人は参加 している事になります。参加率5割を超える方も15 人もいます。ここでの話から新しい部会が出来たり、 稲門会方針の下打ち合わせの場ともなり、影の役員 会とも称される所以です。

現在の会場である「やるき茶屋」には下目黒の「松喜」から場所をかえて早80回余を数えております。 歴代店長のご厚意により、料理はいつも25人分の量と質が用意され、酒も特別のものを毎月違えて差し入れされます。これも飲んべーにはたまらない魅力です。

2009年12月、当初からの世話人土川副幹事長のあと井村正陽氏が代行となって3年程が経過しましたが、この4月より部会長として小生が就任し、新たな会としてのスタートを切りました。皆さんの参加をお待ちしています。

日時:毎月第4月曜日 18:00~20:00

場所:『やるき茶屋』 目黒区平町1-27-3日の丸ビル

TEL 03 - 3717 - 4591

会費:4,000円



会員の広場

高齢者夫婦の南米大陸周遊4万キロ(前編)

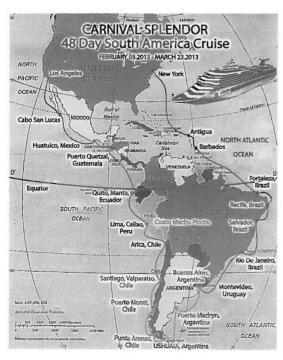


市瀬達夫(昭和34年 法) 市瀬一江(昭和37年 教)

厳冬の2月3日成田空港を 出発し南米大陸一周の旅がス

タートした。2人とも健康に恵まれていて特別心配はなかったが、未知の大陸故、50日間を無事に終るか否か…。多少の不安はあったが…。何故かこのプランは夫の方が積極的でいろいろと頑張っていたようだったが、決定してからは私も本格的に計画作成に参加。以前に「飛鳥」による世界一周105日間の経験があったので"クルーズ"は理解していたが、日本船と外国船との相違を十分研究していなかったため50日間の「洋食のみ」の食事に参ってしまい、遂にナイフとフォークは見ることさえ恐怖でした。しかし旅とは良いもので、感動や驚き失敗談も多くあったが好奇心も十分満たされ、思い出多きものとなりました。

観光案内的な事は省き、私たちが経験した各国での様々なエピソードを中心に、前編は太平洋を南下南極大陸へ1千キロの地点まで、後編は大西洋を北上しニューヨークまでの様々な人々との出会いや珍しい出来事をお知らせします。全寄港地の詳細は紙面の都合上無理なので主な港のみを選びました。



ロスアンゼルスまでは空路で、ロングビーチで今回の船「カーニバル・スプレンダー」に乗船。11万3千トンの巨大な船で、乗客3000人・スタッフ1500人と聞きびっくりしていたら、その内訳はアメリカ

1800人、カナダ600人、オーストラリア350人、その他30カ国位の人々で日本人は23人のみ。船内の言語は英・西・仏・伊・独語等で全く分からず、ツアーコンダクターを頼りに50日間過ごすことに早くも絶望的となってしまった。

船はカリフォルニア半島を南下し中米メキシコのカボサンルーカスに着岸したが港が小さくテンダーで上陸。しかし日本の約5倍の国土と「世界で1番海洋生物の住みやすい海」とのことで、800種以上の魚の宝庫と言われ、経済的には遅れているようだが住民は陽気で、テキーラをおいしそうに飲んでいた。この酒はリュウゼツ蘭の根元で、アルコール度は高い。ロスから空路2時間の立地条件のためハリウッドスター達のお忍び避寒地で近年脚光を浴びているようだ。

終日航海が続いているので、船内の様子をお知らせします。プールでは、各国の客の半数以上はダイナミックな身体を惜しげもなく見せてくれ、ジャグジーから立ち上がった時水量が半分以下になっても狼狽することなく開き直ってプールサイドに横たわり、「とどのコロニー」かと思ってしまい、これは日本人との違いだなあと驚き、ある意味感動もした。

船は中米最後グアテマラに入港。北海道と九州を合わせたくらいの面積で、マヤの遺跡も残り、火山が多く地震に悩まされてきたため建物は低く小さなものばかり。但し物価が非常に安く長期滞在が可能な街と思われた。古都アンティグアは世界遺産で、コロニアル風の街並みに趣があり落ち着いた感じだった。原住民は背が低く子供のように見え、カラフルな衣装で可愛かった。



-プエルトケツアール港(グアテマラ)-

出発後13日目にようやく南米大陸に入ることになり、船の左手遥か洋上はパナマ運河との説明。以前「飛鳥」で通っているが、所要時間8時間で通行料1900万円と聞き驚いたことを思い出した。

赤道直下の国エクアドルに到着。45℃前後の太陽 ぎらぎらの国で、スペイン語で赤道をエクアドルと 言うのが国名の由来となったとのこと。首都キトの 中心に赤道を示す標識が建てられている。熱帯ジャングルも繁り、「進化論」のガラパゴスも近く、インディオが多く住み、象牙椰子の木々も繁り、それがアクセサリー等に加工され安くて美しいものが多く、私も10ドルで購入しました。

次の港は南米最大の繁栄を築いたインカ帝国の中心地ペルー。マチュピチュ観光のベース基地として日本人も多く訪れていると思うので首都リマの様子をお知らせします。ペルーは日本の3.5倍の面積と3千万の人口で、そのうち日系人が9万人。2009年に移住110周年を迎え日本語学習熱が高いとされている。中心部は大きなビル・広場・商業区域・住宅地等大都市の機能が集中し人々も多く活気があったが、少し離れると背後は山々が連なり乾燥した土地で住宅も小さく、格差社会が歴然としていて考えたが、以前の事件のせいか四方のセキュリティーは万全で、SPが多く、先の尖った鉄製の柵に囲まれ、建物の中は全く見えず、こうして日本人の安全が守られているのだろう。

ここで日本でもおなじみの野菜がペルー原産であったことについて一寸ふれます。じゃが芋・トマト・トウモロコシ・落花生等がありますが、これはアンデス高地の気候と土壌・熱帯性の雨等が生育に適していたのでは…とのこと。



-- アルマス広場 (リマ) --

船は南下を続けて南北4300キロと細長い国チリに入った。東西は狭い所は175キロ程度で、いかに細長い国であるかを再認識。2番目に接岸したバルパライソは別名「天国の谷」と呼ばれ急な坂道や石段が港を囲むように広がり、名前の如く谷間の町で全体が世界遺産となっている。首都サンチャゴはアンデスの近くにありここから250キロ離れているが、国会議事堂だけは何故かこの町にあった。パナマ運河開通まではマゼラン海峡を航海する船の停泊地として栄えたようだが、近年は「チリのアカプルコ」の別名通り南米有数のリゾート地と言われている。チリは南米の優等生と言われ、日本人にとっては「住み易い南米の第1位」とのことである。その理由の

第1は海産物の宝庫でお刺身を安心して食べられる 南米唯一の国であり、第2はワインの輸出量が南米 トップで美味なものが多いこと、第3は美人が多い のも殿方にとっては嬉しいことでしょう。モアイで 有名なイースター島もあり観光客も多く活気のある 街だった。

次の接岸は南部の州都プエルトモン。日本とは反対で南下する程温度は低くなり、サンチャゴは北九州、この街は函館と同緯度とのこと。湖水地方と言われ神秘的な湖が多数あり、海からの湿った空気のため雨量は多く森林の緑は輝きがあり北部砂漠とは様相が全く違っていてさすが4300キロの国だなあと改めて感じた。

夜間にチリフィヨルドに入るとの放送があったが暗闇のため判別出来ず、乗船客からの不満のため1人100ドルずつ返してもらった。私たちは他国でフィヨルド経験があり、マゼラン海峡(ダーウィン運河とも言う)の方が興味があったので100ドルの方がよかった?

25日(ようやく半分)を終えたが、太平洋も毎日穏やかではなく波の荒い日も多く、船に弱い私は薬を飲み1日中ベッドで過ごした日もあった。

チリ最南端の街プンタアレーナス。砂の岬の別名 通り砂地のため桟橋が小さくテンダーでの上陸。街 の中央に各国までの距離の掲示板があり、日本迄は 直線で1万8千キロと書いてあり「随分遠くへ来た ね」と2人で意見が一致しました。マゼラン海峡に 面していて南部パタゴニアの起点の街として重要な 役割を果たしているようである。この海峡はあまり にも長く正確な距離は不明だったが両岸は全て花崗 岩で埋め尽くされ、途中には朝日に輝く雪渓もあり、 1520年に発見され航海の安全と人や物資の交流に大 きな役割を果たしたとされている。後編で詳しくお 知らせするホーン岬は、当時はどうしても通過せね ばならないルートだったと言われ、太平洋と大西洋 の分岐点が地図上に記されているようです。

以下は後編で。



―カーニバル・スプレンダー号と―

部会案内一覧

詳細は本誌の各部会報告をご覧いただき、興味をお持ちの部会にお気軽にご連絡下さい。平成25年7月現在

HINDER D						
部会名	部会長	連 絡 先 電話/Fax	参加人数	会 費	活動概要	
囲 碁	大久保健治		10数名	300円	毎月1回(下目黒住区センター)	
カラオケ	田畑 繁		10数名	3,000円 女性2,000円	毎月 第2金曜 午後4~7時(コート・ダジュール目黒駅西口店)	
グルメ	猪名川一雄		15~20名	5,000円~	年5~6回程度 「楽しい」がキーワードです	
ゴルフ	大杉 邦雄		20~30名	20,000円程度	年2回春秋 目黒通りバスで送迎	
ウォーキング	牧野 武夫		15~20名	なし (各自負担)	シーズン中は毎月1回程度	
麻雀	鵜野 洋治		10数名	3,000円	年6回 武蔵小山"サン"および 渋谷"スリーハンドレッド"	
美術・歴史鑑賞	後藤 克彦		15~20名	その都度	年4~5回	
旅行	井村 正陽		20~30名	その都度	年2回 春秋	
若 木 会	中西 元樹		10名程度	その都度	年数回の食事会等の他、幅広い層 の参加による「心の若木会」も数回 開催	
よん月会	安藤 孝		20~30名	4,000円	毎月 第4月曜 午後6~8時 (「やるき茶屋」都立大学店)	
俳句	佐藤 喜孝	_	約15名	3,000円/年	毎月 第3金曜 午後2~5時 下目黒住区センター	
ボランティア	稲垣 博信		全員	その都度	各種ボランティア活動および 各種支援募金の実施	
早 稲 田 スポーツ観戦	狩野 俊夫		10数名	その都度	年5~6回 早稲田スポーツ好カードの観戦	
広 報 編 集 委 員 会	地田 博昌	eメール meguro-tomonkai@nifty.ne.jp URL http://homepage3.nifty.com/me96tomon-waseda/				

原稿募集しています

編集委員会では、皆様の原稿を募集しています。 海外での貴重な体験、今だから言えるお仕事の秘話、 在学中の感動物語、今も続く部活動の仲間との交流 等々、奮ってご寄稿をお願いします。

用紙は会報専用の電子原稿を使用の上、編集長宛 メールにてお送り下さい。まずは、編集部へメール にて原稿用紙をご請求下さい。他の原稿用紙をご使 用の場合も歓迎致します。編集部まで御相談下さい。 皆様の傑作、労作をお待ちしております。

HP便り

目黒稲門会ホームページ(HP)には『情報コーナー』というページがあります。これは会員の皆様が他の会員や一般の方々に伝えたい事項を掲載できるものです。URLは下記の通りです。

http://meguro-tomonkai.air-nifty.com/hiroba/使用法等は上記ページに記載されています。

編集後記

市瀬さん御夫妻が豪華客船に乗って南米大陸を1 周するというお話を耳にしたのは、去年秋の役員会 後の懇親会の席でした。それまでそのような旅をさ れる方は我々とは縁のない世界の人達だと思ってい ましたので、こんなに身近な所にそういう方がいらっ しゃることにびっくりして、その場で会報へのご寄 稿をお願いしました。

市瀬さんには即ご快諾いただきましたが、せっか くの旅行がのんびりと楽しめなくなってしまうので はないかと、些か申し訳ない気持でいっぱいでした。

実際、今回の原稿をいただく際にも、膨大な資料やパンフレット、写真をきちんと整理・保存しておられ、やはり大分ご負担をお掛けしてしまったなあとつくづく思った次第です。でもおかげで大変楽しい記事を書いていただけました。今号に前編、11月末発行の次号に後編を連載で掲載します。素晴らしい旅行記をお楽しみ下さい。 (地田 記)